

21 世紀の生命を育む

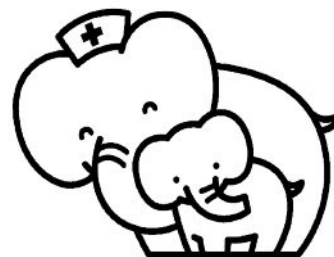
はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



DPT 三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)ワクチン

を受ける前にお読みください。

自然感染したとき

ジフテリア

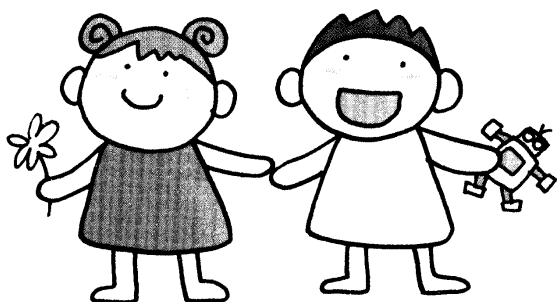
- ジフテリア菌の飛沫(ひまつ)感染によって起ります。感染は主に咽頭ですが、鼻にも感染します。
- ジフテリア菌が感染すると、10%の人に症状が発現します。残りの90%の人は感染しても発病せずに(=不顕性感染)、保菌者となってジフテリア菌を排出し、他の人に感染させます。
- 症状は高熱、のどの痛み、犬吠様の咳、嘔吐などで、のどに偽膜(ぎまく)を形成して窒息死することがある恐ろしい病気です。
- 発病 2-3 週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺(まひ)を起こすことがあるので、注意が必要です。

百日咳

- 百日咳菌の飛沫感染によって起こる病気です。
- 百日咳は普通の風邪のような症状で始まります。その後、咳がひどくなり、顔を真っ赤にして連続的に咳込むようになります。コンコンと激しい咳のあとに息をヒューと吸い込みます。熱はでません。
- 乳幼児は咳で呼吸ができず、チアノーゼやけいれんが起きることがあります。
- 肺炎や脳症などの重い合併症を起こします。乳児では命を落とすことがあります。

破傷風

- 破傷風はヒトからヒトへ感染するのではなく、破傷風菌が土の中にひそんでいて、傷口からヒトの体内に入って感染します。体内に入った破傷風菌が増殖すると、菌が産生する毒素のために口が開けられない、けいれん、呼吸が出来なくなるなどの症状が起こって、死亡することがあります。
- 自分では気がつかない程度の軽い傷から感染します。
- 日本中どこにでも土の中に破傷風菌がいますので、常に感染する機会があります。



3種混合ワクチンの受け方

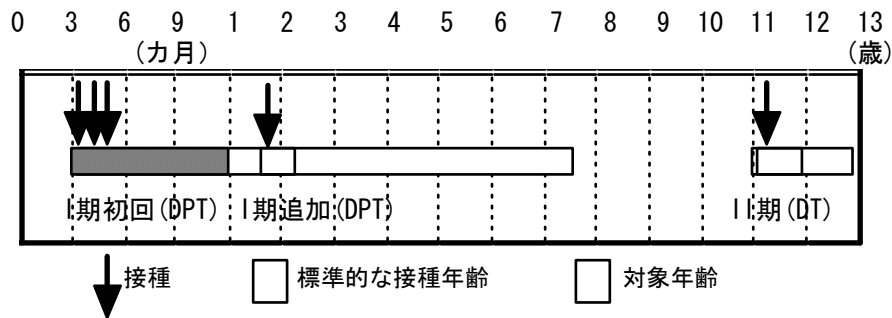
○生後3カ月になったら直ぐに、I期初回1, 2, 3回目の接種を受けましょう。1, 2, 3回目は3-8週間の間隔をあけて下さい。

・I期1, 2回目の接種が済めば、概ね抗体が獲得できます。早めに接種を受けましょう。

・8週間以上の間隔があいた場合でも、3回きちんと受けて下さい。

○I期初回3回目の接種後、12-18カ月後にI期追加の接種を受けて下さい。

○II期は11-12歳(小学校6年生)に2種混合(DT)を追加接種します。



3種混合ワクチンの副反応

○接種当日か翌日に、0.2-1.7%のお子さんが発熱しますが、1-2日で下がります。発熱した場合には解熱剤の坐薬を使用して差し支えありません。

○接種3-7日後に、14-42%のお子さんに、接種部位の発赤(あかみ)、腫脹(はれ)、硬結(しこり)が生じます。免疫反応が起こっているための現象ですので、心配ありません。アイスノンなどで冷やして下さい。直径2-3cm程度は様子を見てください。5cm以上腫れた場合には湿布薬やかゆみ止めを処方します。受診して下さい。まれに、上腕全体が腫れることがあります。

○硬結(しこり)が残ることがありますが、少しずつ小さくなり、数カ月で自然に消失します。様子を見て下さい。

○I期初回で腫脹(はれ)がひどい場合には(通常5cm以上)、次回の3種混合ワクチンは半量(0.25ml)に減量して接種します。合計2回分のワクチン量で通常免疫を獲得できます。

接種を受けた後の注意

○接種当日はいつも通りの生活でかまいませんが、激しい運動は避けて下さい。入浴は差し支えありません。

○接種した部位は揉まないで下さい。押さえるだけで十分です。わざとこするのはやめましょう。

○3種混合ワクチン接種後は、1週間は他のワクチンを接種できません。ただし、3種混合ワクチンどうしは3-8週間の間隔をあけて下さい。

病気の後の予防接種までの期間

○麻疹の治癒後4週間、風疹・水痘・おたふくかぜの治癒後2-4週間、突発性発疹・手足口病・伝染性紅斑などの治癒後1-2週間程度は、予防接種を受けない方がよいでしょう。ただし、疾病流行期はこの限りではありません。

○上記疾患以外で高熱が出た場合には、1週間は予防接種を受けない方がよいでしょう。

